

「京クッキング」参加者を募集します

6月は食育月間です。「主食・副菜・主菜」を基本とする日本型食生活と適度な運動で健康な身体づくりを始めましょう。

ご参加お待ちしております。

●日時／6月11日(水)、18日(水)両日とも午前10時～午後0時30分

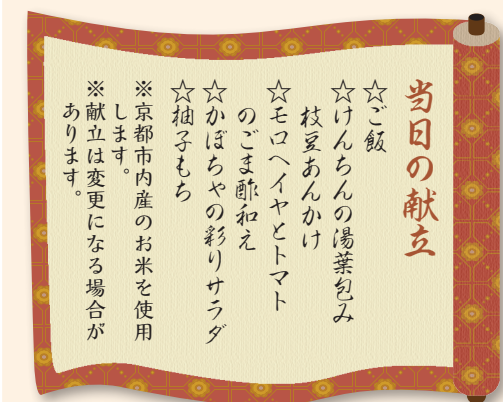
●場所／区役所2階栄養室

●内容／

○講話『食事運動も適量が大事』講師：保健センター管理栄養士

○調理実習『初夏を感じるバランスクッキング』

○試食・交流 ※両日とも同じ内容です。



京都市民の目指す姿

みんなそれぞれ

「バランスのよい食事と適度な運動」

～京の協食～

新「京・食育推進プラン」から



●参加費／500円

●持ち物／エプロン、三角巾、手拭きタオル

●対象者／18歳以上の区民(料理初心者の方、男性の方もお気軽にご参加ください。)

●定員／20名(先着順) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

●申し込み方法／6月2日(月)8時30分から電話または窓口にて受付。

●申し込み・問い合わせ先／区保健センター 成人保健・医療担当(☎592-3477)

小野ソフトボールクラブ 春季全国大会に出場

3月28日、29日に北九州市で開催された「第7回春季全日本小学生男子ソフトボール大会」に、小野小学校のソフトボールチーム(小野ソフトボールクラブ)が京都代表として挑みました。

小野ソフトボールクラブは鹿児島県代表の強豪チームと対戦し、残念ながら初戦敗退となりましたが、今後さらなる挑戦に期待します。

●問い合わせ先／区まちづくり推進担当(☎592-3088)



めざせ! エコイベント



お祭りや学園祭などのイベントは、短期間でごみが大量に発生するなど、環境に大きな負荷を与えています。

ごみの減量や参加者の環境意識の向上を図るため、次の支援策を用意しています。賢く活用して、イベント経費も、環境への負荷も軽くしましょう!

●「京都市認定エコイベント」登録でエコ化をPR!

イベントのエコ化に取り組む主催者を応援するために「京都市認定エコイベント」登録制度を設けています。のぼりやロゴを使って、主催者の取組を参加者に分かりやすくアピールできます。

●賢く使おう! 「リユース食器」助成金制度

イベントから出るごみを減らす特効薬となる「リユース食器※」を広めるため、導入費用に対する助成制度を設けています。

※リユース食器とは、繰り返し何度も使える食器のことです。

対象となるイベント	自治会・町内会、NPO、学校などの団体が、市内で開催し、リユース食器を使って100食以上の飲食品を提供するイベント ※京都市認定エコイベントへの登録が必要です。
助成内容	リユース食器導入費用の2分の1(上限10万円)
助成対象	リユース食器のレンタル費用のほか、コーディネーターの person 費、食器洗浄機などのレンタル費用 (ただし、食器の破損や紛失に伴う補償金は対象外)
助成申請	申請受付は原則としてイベント開催日の2週間前まで
その他	リユース食器は、リース事業者からレンタルして使用

●問い合わせ先／山科エコまちステーション(☎366-0184)

山科消防団総合査閲を実施します

山科消防団(川中長治団長、区内13分団・228名)では、安心・安全なまち山科区を目指し、日頃から区民のみなさんへの防火、防災啓発活動に取り組むとともに、地震などの大規模災害に備えて小型動力ポンプによる放水訓練を実施しています。

今年もその成果を披露するため、山科消防団総合査閲を実施し



ます。みなさんのご声援をお願いします。

●日時／平成26年5月18日(日)

午前9時30分～11時30分

●場所／山科中央公園(西野阿芸沢町)

●問い合わせ先／山科消防署(☎592-9755)

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう! 第24回 連載 区民活動きずなリレー

～人の温かい物語で
まちをつなぎます～

(山科「きずな」支援事業補助金交付事業)

「きょうのやましなさん。」は関西の大学生が中心となり、山科に住む「人」をインタビューし、その人の温かい物語を発掘・発信するプロジェクトです。メンバーの大久保さん、中上さんにお話を伺いました。

「私達はインサイトハウスという山科の不動産会社のインターンシップに応募した大学生です。その内容は地域活性化につながることを自分たちで考えていこうというもので、1期生の時に現在のプロジェクトの形ができました。」

2012年に始まった活動は、現在4期目を迎えています。大久保さんは3期生で、ちょうどこの3月に活動が終了しました。

これまでの取組内容は、インタビューをもとに冊子を作るのを基本とし、2期では主に飲食店を対象としてインタビューし、そのお店を食べ歩きするイベントも開催したそうです。

「3期生としては、冊子を山科の皆さんに読んでもらう方法に悩みました。お店に置いてもらう手にとりて読んでもらうところまではなかなかたどりつきません。また山科全体を対象とするより身近な人の話題が読める方が、物語の温かさ

が伝わりやすいと思いました。そこで回覧板を使うことにしました。」回覧板なら山科にお住まいの家庭に届きます。大久保さん達は榊辻近辺で出会った人にインタビューし、フリーペーパーにして榊辻南部町内会という約400世帯の町内会の回覧板で見ってもらうことにしました。

登場する人は川沿いを散歩している人や公園でくつろいでいる人など、榊辻近辺で生活している人が多く、趣味や仕事の話から山科に対する思いなど温かさが伝わってくる内容です。期間中に5号まで発行したそうです。「突撃インタビュー



取材していることがわかりやすいように、手持ちの看板を作ったそうです。

をするので、怪しまれることもありましたが、打ち解けて2時間しゃべったこともありました。とにかく根性がつきました。」

4期生として活動を始められたのが中上さん。「社会人になる前にインターンとして社会経験を積みたかったのと、将来仕事をする中でも地域と関わって生活したいという思いがあり、この活動に興味を持ちました。」今期もインタビューが中心になりますが、発信の仕方は検討中とのこと。

山科の皆さん、散歩中などにもし出会ったら、ぜひ取材を受けてみてください。

「きょうのやましなさん。」ホームページ <http://yamashinasan.com/>

●問い合わせ先／区総務・防災担当(☎592-3066)